

荷物用エレベーター
かご・乗り場押上戸用ワイヤロープの仕様と点検方法について

この度、荷物用エレベーターの、かご及び乗り場の押上戸に使用しているワイヤロープにつきまして、ロープの種類を変更することで、耐久性が向上することが確認されました。

つきましては、今後ワイヤロープを交換する際は、下記の種類のものを使用して頂きますようお願い申し上げます。

また、ワイヤロープの点検周期及び交換目安も下記に示しますので、ご活用ください。
昇降機の安全な運行のため、維持管理のほどお願い申し上げます。

記

(1) ワイヤロープ

名称：押上戸 低速戸駆動用ワイヤロープ

仕様：φ6mm E種 6xS(19) 平行より

名称：押上戸 中速戸連動用および高速戸連動用ワイヤロープ

仕様：φ6mm A種 6x19 片クランプ付

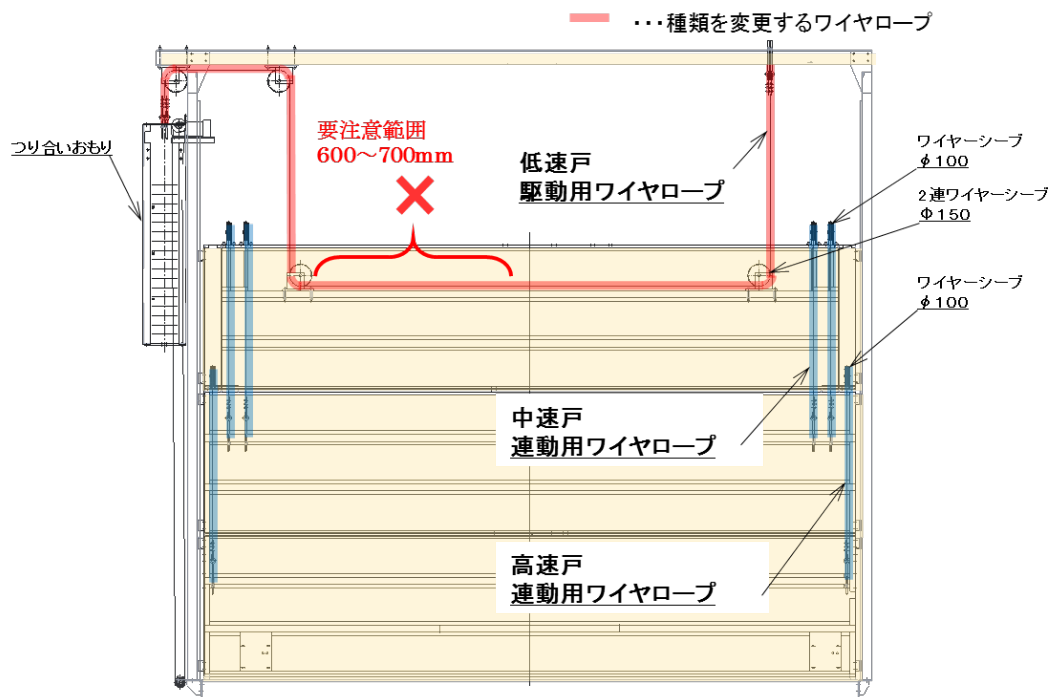


図1. 押上戸のワイヤロープ構造例（3枚戸）（戸閉状態）

(2) 点検周期と交換目安

最も使用頻度の高い、かご戸を基準とした場合の、点検周期と交換目安を表1に示します。

なお、乗り場戸は、停止数や2方向出入り口の有無により、起動回数≧戸開閉回数となりますのでご注意ください。

- 例) 2停止、2方向出入り口は「乗り場戸=かご戸」
 2停止、1方向出入り口は「乗り場戸=1/2かご戸」

表1. 点検周期と交換目安

	点検周期	月間起動回数	交換目安
<従来品> ①低速戸：6mm A種 6x19 ②中・高速戸：6mm A種 6x19	4ヶ月	～2,000回	①素線切れが発生した ②累計起動回数15,000回超え のいずれか早い方
	2ヶ月	2,001～5,000回	
	1ヶ月	5,001回～	
<変更品> ①低速戸：6mm E種 6xS(19) ②中・高速戸：6mm A種 6x19	5ヶ月	～2,000回	①素線切れが発生した ②累計起動回数20,000回超え のいずれか早い方
	2ヶ月	2,001～5,000回	
	1ヶ月	5,001回～	

(4) 重要な点検箇所について

図1 に示す、低速戸ワイヤロープの×印の範囲は、ワイヤロープがS字形状に曲がり、繰り返して曲げ回数が多い箇所です。特に素線切れが発生しやすいため、重点的に点検をお願いします。

(5) 素線切れのチェック方法について

薄手の平織みウエス（メリヤスウエス）を使用し、人差し指と親指でワイヤロープをつまむようにしてなぞると効率よくチェックできます。

素線切れ箇所は明らかな引っ掛かりを感じるため、あとは目視で素線切れを探します。

ワイヤー表面にホコリやゴミが付着していると、微妙な引っ掛かりがわかりづらいことがありますので、軽く表面を清掃してください。ただしパーツクリーナー等は使用厳禁です。

ワイヤロープ内部のグリスまで除去されてしまい、寿命が短くなります。

薄手の平織みウエスの例

TRUSCO αメリヤスウエス汎用タイプ 品番：TMU-1A



以上